

■校長から邇摩高生へのメッセージ（令和5年5月8日）



持ち運び便利な生徒端末

昨年度から島根県では入学時にパソコン端末を購入して入学してきています。現在3年生を除く1,2年生がパソコン端末を持っています。

「何故、今、生徒1人1台パソコンなのでしょうか？」みなさんは「Society5.0」について知っていますか？現代社会は情報社会と呼ばれ、インターネットの発達に合わせ生活が便利になっている反面、知識や情報が共有されず分野横断的な連携が不十分であるという問題があります。そのため狩猟時代(Society1.0)、農耕社会(Society2.0)、工業社会(Society3.0)に続く、現代・情報社会(Society4.0)の社会的課題の解決と経済発展を両立する新たなSociety5.0の実現を目指しているのです。そこではIoT(Internet of Things)で全ての人とモノがつながり、人工知能(AI)やビッグデータ等により様々な知識や情報が共有されるとともに、今までにはない新たな価値を生み出す変革(イノベーション)が期待されています。

そしてSociety5.0を担う人材を育成しようとする動きが「GIGAスクール構想」です。(GIGA=Global and Innovation Gateway for All)これは、学校教育の段階から最新の技術を取り入れることで国民全体のITスキル、ITリテラシーの向上を図るものです。現在買い物がSNS上、またコンビニでも支払いがスマホで出来るようになっており、ロボット化の動きにはますます拍車がかかると思います。背景に人口減少があるからだとは私は考えます。(本県の人口65万人が2040年には52万人まで減など日本全体の人口減)

仕事そのものにも大きな変化が予想されます。単に知識や経験に基づく活動の多くがAI(ロボット)が担うようになり、みなさんに求められるのは、自ら課題を発見し、他者と柔軟に解決策を創造する力や変革(イノベーション)を起こす挑戦心等であり、人間にしかできない分野における仕事(活躍)です。これからの社会では、必要とされるスキル等が今までとは大きく異なってくることが予想されます。このような視点において「1人1台パソコン導入」を考えてみてください。キーワードは「主体性」「探究力」です。授業も協働し高めあい創造力等を育成する学びへと変わります。パソコン端末を使って、自分の力で情報を集め仲間と共有し関心がある課題の解決策を探るとともに、知識・技能の習得などタブレットを使って自分でできることは家庭で学習するようになってきます。是非、主体的にパソコン端末を活用し、探究力等のスキルアップを図ってほしいと思います。もう1つ考えてほしいこと、それは、タブレットの経費の出所も考えてください。事業予算の源は『税金』です。未来を担うみなさんのため貸与されます。感謝の心を持ち、その“意義”をしっかりと考えてください。